

シグマ研究委員会 核構造・崩壊データ専門部会
核構造 W.G. サブグループ会合議事録

日 時 : 1979.2.14, 10:30 - 17:30
場 所 : 東京本部第22会議室
出席者 : 神戸(東工大), 喜多尾(放医研), 橋爪, 天道(理研), 田村(原研)
配布資料 : 1) A = 127 の文献
2) A = 127 の GTOL, HSICC, FETCH List
3) 54年度計画案

議 事 :

1. A = 127 の評価

前回までに作成された A=127 のデータ・セットに対して, FETCH, HSICC, GTOL などの結果が得られており, これにもとづいて File の修正をはじめた。

今回の HSICC の結果を使用できるものは, 直ち修正を行い, 複雑な場合にはさらに Mult. や MR の情報を追加して, IBM 370 で計算することになった。Xe については, EC崩壊を橋爪委員, (X, X') 反応を喜多尾委員が調査した結果を報告した。

2. 54年度計画案

54年度の当 WG の活動について, つぎの案が検討された。

- i) A chain 評価: A=123, 125, 127 (7月まで), A=129, 126, 128 (55年7月まで)。
- ii) 評価プログラムとして崩壊スキームの Plot, その他を整備する。
- iii) 日本の文献データの入力 1976-1979 を6月頃までにまとめて Nuclear Reference File へ入力する。それ以降は4ヶ月おきにまとめる。
- iv) ENSDF の利用について医学用, 崩壊熱用, 核図表用サブファイルを作る。
- v) 評価の質を高め, 能率を向上する目的で評価者のトレーニング・セミナー

-を実施する。

vi) 核構造データを中心としたセミナーに当 WG の活動に関連したいくつかのテーマで参加する。

- a. A-chain 評価
- b. A-chain 評価用プログラム
- c. ENSDF の利用 I 医学・生物用サブ・ファイル
- d. ENSDF の利用 II FP 崩壊熱計算用サブ・ファイル